

目的

ブラウントラウトは、国際自然保護連合の「世界の侵略的外来種ワースト 100」に挙げられており、近年では本州の河川での侵入・定着が確認されている。¹⁾ 昨年度の調査では本県においてもブラウントラウトの侵入が確認されたことから、²⁾ 引き続き侵入状況を調査した。

方法

那珂川支流の黒川 4 地点及び余笹川、三蔵川の各 1 地点において、電気ショッカーによる採捕を行った。採捕時間は 1 時間、採捕者は 2 名とした。

結果および考察

黒川 3 地点でブラウントラウトが採捕された(表 1)。採捕数は調査地点最上流の豊原橋上流で 22 尾と最も多く、他 2 地点では 1-3 尾と少なかった。昨年度の調査においても上流部で採捕数が多かったことから、²⁾ 今後駆除を行う際は上流部において重点的に行うことが有効と考えられた。

表 1 ブラウントラウトの採捕結果

調査日	河川名	場所	捕獲尾数
12/23	黒川	豊原橋上流	22
12/23	黒川	豊原駅	0
12/23	黒川	大平橋	3
12/27	黒川	りんどうライン上流	1
12/27	余笹川	東電堰下流	0
12/27	三蔵川	りんどうライン上流	0

採捕魚の全長組成を見ると全長 20cm 以上の個体は 1 尾のみで、他は全て 20cm 未満の個体だった(図 1)。今回の調査は 12 月下旬に実施しており、産卵期の終了後と考えられる。このため、繁殖期前に採捕調査を行い、成熟サイズ等の繁殖実態を把握することが必要と考えられる。

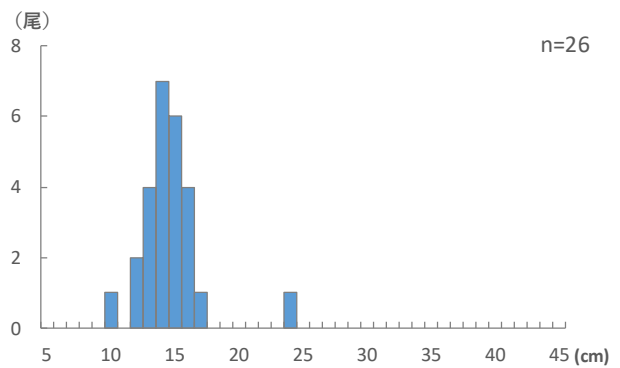


図 1 ブラウントラウトの全長組成

参考文献

- 1) 長谷川功. 外来サケ科魚類ニジマス・ブラウントラウトの定着メカニズムと在来生態系への影響. SALMON 情報 2016 ; 10 : 8-15.
- 2) 酒井忠幸・渡邊長生・村井涼佑・森竜也・野中信吾・関戸章一. ブラウントラウト侵入状況調査. 栃木県水産試験場研究報告 2021 ; 65 : 36.

(指導環境室)